

表44 2016年末わが国の慢性透析療法の現況（所在県別）長崎県

透析施設の現況（施設調査票より）	
対象施設数	63
回収施設数	62
ベッドサイドコンソール台数	1,682
同時透析	1,667
最大収容	5,249

透析従事者数（施設調査票より）							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	67	603	97	19	1	91	878
兼務	102	128	53	79	42	79	483
合計	169	731	150	98	43	170	1,361

透析患者数（施設調査票より）							
治療方法		通院		入院		合計	
治療 方法 単独	血液透析（HD）	2,924	(80.6)	323	(87.1)	3,247	(81.2)
	血液透析濾過（HDF）	562	(15.5)	40	(10.8)	602	(15.1)
	血液濾過（HF）	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.0)
	血液吸着透析	8	(0.2)	3	(0.8)	11	(0.3)
	在宅血液透析	8	(0.2)	0	(0.0)	8	(0.2)
	腹膜透析（PD）	115	(3.2)	2	(0.5)	117	(2.9)
HD(F), PDの 併用	週1回のHD(F)等との併用	7	(0.2)	1	(0.3)	8	(0.2)
	週2回のHD(F)等との併用	3	(0.1)	0	(0.0)	3	(0.1)
	週3回のHD(F)等との併用	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	上記以外の併用	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.0)
2016年末透析患者総数						3,998	(100.0)

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

人口100万対比	2,924.7
----------	---------

2016年末透析患者のうち、夜間透析患者数	410
-----------------------	-----

2016年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	433
2016年PDで新規に透析導入した患者数	35
2016年 新規導入患者総数	468

2016年 透析患者死亡数	361
---------------	-----

(C)Japanese Society Dialysis Therapy

2016年末調査

透析歴別患者数（患者調査票より）										
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計	
2年未満	559	(23.4)	311	(19.8)	870	(22.0)			870	(22.0)
2年～	575	(24.1)	365	(23.3)	940	(23.8)			940	(23.8)
5年～	587	(24.6)	367	(23.4)	954	(24.1)			954	(24.1)
10年～	302	(12.7)	221	(14.1)	523	(13.2)			523	(13.2)
15年～	168	(7.0)	114	(7.3)	282	(7.1)			282	(7.1)
20年～	83	(3.5)	76	(4.8)	159	(4.0)			159	(4.0)
25年～	64	(2.7)	59	(3.8)	123	(3.1)			123	(3.1)
30年～	27	(1.1)	32	(2.0)	59	(1.5)			59	(1.5)
35年～	15	(0.6)	11	(0.7)	26	(0.7)			26	(0.7)
40年～	5	(0.2)	13	(0.8)	18	(0.5)			18	(0.5)
合計	2,385	(100.0)	1,569	(100.0)	3,954	(100.0)			3,954	(100.0)
不明	1		1		2				2	
記載なし										
総計	2,386		1,570		3,956				3,956	
平均	7.31		8.51		7.79				7.79	
標準偏差	7.57		8.68		8.05				8.05	

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

最長透析歴（患者調査表より）	
最長透析歴	47年 8ヶ月